

## 道池 (みちいけ)

### 位置図



### 諸元

貯水量	264.1 千m <sup>3</sup>
満水面積	8.7 ha
受益面積	69 ha
堤高	5.5 m
堤長	1250 m

丸亀市の道池は川西町に位置し、池の北堤に沿って県道善通寺府中線、西堤沿いには県道丸亀長尾線が通っています。道池の名称は「大道」に面している意味であり、このあたりが交通要路になっていたこともうかがわれ、「新編丸亀市史」によれば、現在の県道善通寺府中線が古代の南海道沿いの地であったと記されています。道池には樋管が5箇所あり、西堤北部の①「真光寺ユル」、更にそこから北に②「五郎兵衛ユル」、北堤西端の③「角ユル」、北堤西部の④「本ユル」、東堤南部の⑤「千日ユル」とそれぞれ名前がついています。ユルに寺院の名称がついていることに加え、付近に寺院が多いことから、寺院が兵火によって焼失した跡地に池が造られた可能性が高いとされています。また、讃岐富士と呼ばれる飯野山から南西に2kmほど離れた場所に位置する道池は、土器川を挟んだ先に飯野山を望むことができます。天候が良ければ水面に飯野山が反射し、そろばんの玉が浮かんでいるような光景を目にすることができます。

近年の改修については昭和13年から平成5年の間に6回の樋管の工事と3回の堤防改修を行いました。最も大きな改修となったのは昭和57年から平成2年にかけて行われたもので、堤防1,150mの前法の盛土及び張ブロックと樋管3箇所、水路流入式の余水吐1箇所を改修するという大掛かりなものとなりました。



道池



道池から飯野山を望む